

なんでも相談・法律相談
随時、ご相談ください

くらしのこと、どこに相談すればいいかわからないこと、お気軽にお問い合わせください

日本共産党青梅市議団

青梅市議会議員

井上たかし

活動報告 2020年6月号

ご連絡は090-8489-5260
inouetakashi99@gmail.com



医療やくらしの支援策の抜本強化を

- **くらしや営業の補償の拡充を**
1回きりの10万円では失業などに対応できません。国・都の補償など抜本的な拡充と、サポート体制が必要です。
- **医療・高齢者・障害者施設への支援を**
マスクや防護服などがいまだに行き渡らず、診療が制約されています。患者・利用者減で経営も大変です。
- **補償・給付の「支給までのつなぎ」策をもっともシンプルな「一人10万円」でも時間がかかっています。急を要する人への「即時支給」制度が必要です。**
- **子ども・保護者の困難をよく聞き 学校現場の意見を反映する対策を**
子どもたちの心身の健康、勉強の遅れ、保護者や教職員の負担など、よく聞き取って現場の要望に応える対応を。
- **国民健康保険、保育、給食など減額し 就学援助の対象拡大を**
高すぎる国保税を引き下げるなど、収入減の家庭に公的負担の減免などを通じて支援を広げるべきです。

発熱など 心配な時には・・・



まず電話でかかりつけ医に相談を

青梅市医師会のドライブスルーPCR検査など、必要な処置を受けるためにも、まずは医師の診断が必要です。発熱などの場合には、「まず電話で相談」し、医師の指示に従ってください(状況によっては電話問診だけでもPCR検査が受けられます)。

青梅市夜間・休日診療(健康センター) 0428-23-2191

月～金曜日 午後7時45分～10時45分 土曜日 午後6時～9時

日曜・休日 午前9時～午後10時 ※いずれも受付は終了の15分前

新型コロナウイルス感染症の感染拡大によって、医療、くらし、子ども達の学校のこと、など深刻な影響と不安が広がっています。

国や都に、医療体制を本気で支援すること、「自粛要請」にふさわしい補償を実施させること、子ども達のために教育のあり方を「子ども中心」「現場本位」にすることを強く求め、市の取り組みを推進させます。

声をお寄せください

「地域の医者には国や都の支援がほとんどない。マスクなど必要なものがなく発熱患者に対応できない。患者数減などで診療所の経営も大変、なんの保障もない状況を変えてほしい」(医療関係者)

「パートを休んでほしい」と働いているお店に言われ、1か月分の収入がなくなりました。政府の休業補償の対象になるのかわからないし、お店がどう対応してくれるのかもわからないので不安」(パート社員)

「スーパーなどのチラシがほとんど作られなくなったので、仕事が激減しました」(広告関連業)

「小学生の子どもが『学年が変わってクラス替えもあったのに友達に会えない。一緒に遊びたい』と言っています。

家で勉強と言っても、インターネットや新聞が必要だったり、親が見ていないとできなかったり、家によっては対応できないのではと思います。(小学生保護者)

新型コロナ問題であわただしく対応する中...

青梅市

今年度予算は市民負担増が次々！

2月、3月に行われた市議会では、新型コロナ感染症に関連して日程が変更されるなど、あわただしく対応する中で、2020年度予算が決定されました。

その内容は医療や子育て、暮らしにかかわる値上げがいくつも盛り込まれるものとなりました。

日本共産党青梅市議団は、「消費税増税でくらしが大変、さらに新型コロナ感染症が市民生活に大きな影を落としている時、このような値上げはストップを」と、一般会計や医療保険関連の予算に反対しましたが、議会では可決されてしまいました。

均等割り 国民健康保険 年4600円 **値上げ**

収入がなくても課税される「均等割り」が、年4600円(40歳以上※)も値上げされます。お子さん二人の4人家族なら年1万7000円もの値上げです(世帯収入が少ない場合には減免)。その他、収入に応じた部分(所得割)も値上げされます。 ※介護納付分含む

後期高齢者医療 年3926円 **値上げ**

75歳以上の方の保険料も、平均で3926円値上げです。この値上げは、東京都後期高齢者医療広域連合が決定したのですが、今ある基金を活用すれば値上げをおさえることができます。私たちは、「市として広域連合に値上げストップを求めよ」と訴えましたが、市長は「適正に決めている」と、容認の姿勢でした。

月 学校給食費 150円~350円 **値上げ**

昨年度、市が行っていた給食費への補助(年1800万円)をやめてしまったため、値上げとなりました。

市長は「遊ぼうよ！青梅」と新しい方針を掲げたにもかかわらず、子ども達の夏の楽しみのプール値上げを提案。

子どもの財布からわずかなお金をとるより、もっとプールを利用してもらうことを考えた方がいいのではないのでしょうか。



東原公園 プール 中学生以下 50円→100円
若草公園 プール 小学生以下 40円→50円

値上げ



市議会一般質問

小中学校校舎 外壁が危険！

1月に外壁が落下した第一小学校の「劣化度調査(外壁、2018年)」の結果は、A~Dの4段階中、Cでした(一小は工事対応済み)。この調査によると、「早急に対応の必要あり」としているD判定の校舎が、9校もありました。

市は「緊急性が高いということは認識している」としてはいますが、具体的な対応がまだとられていません。思い切って外壁の補修を進めるとともに、詳細な点検と落下物から子どもを守る対策をさらに求めていきます。



第一小の昇降口脇に「危険」の表示

教員の働き方、学校給食の運営

教員の「ブラックな働き方」を是正するため、教員の増員による少人数学級の実現が急務です。ところが、国は長時間労働を固定させかねない「変形労働時間制」を進めようとしています。私は「そもそも導入する条件がない」と主張しました。

また、学校給食センターの建て替えにともなって運営を民間委託する方針について、「民間ありき」はおかしいと質問しました。

給食について、市には多くの方から「自校方式にしてほしい」との意見が寄せられています。

